

3月21日

## 主教トマス・クランマー

Thomas Cranmer

(1489.7.2~1556.3.21)

～第一／第二祈祷書を作成～

トマス・クランマーは英国教会のカンタベリー大主教です。彼はノッティンガムシアのアスラクトンに生まれ、ケンブリッジのジーザスカレッジで学びます。

1529年、ケンブリッジのチューターであったクランマーは、ヘンリー8世の離婚問題について、広く学界の意見を求め、またヨーロッパ諸大学の見解を求めるようにとヘンリーに対して進言することで、ヘンリーから認められていきます。

その結果、1533年に第69代カンタベリー大主教に聖別されます。そして同年5月23日にはヘンリー8世とその妻キャサリンとの結婚について無効宣言を行い、同時にアン・ブーリンとの結婚を有効と認めます。さらに1534年には「国王至上法」が制定され、イングランド教会はローマ・カトリック教会との結び付きを断ち切る方向に向かっていくことになります。

1547年のヘンリー8世の死去後、クランマーはエドワード6世の登位とともに礼拝様式の改革を始め、1549年には第一祈祷書を、その三年後にはよりプロテスタント的な第二祈祷書を作成します。さらに1553年には「42箇条」を作ります。彼はこれらの改革の中



「カンタベリー大主教

トマス・クランマー」

で、イングランド教会の礼拝を出来る限り初代教会のものに近づけようとしていきます。

しかしエドワード6世の死去後、王となった女王メアリーはカトリックの熱心な信者であり、クランマーを捕らえます。彼はロンドン塔に監禁された後、オックスフォードに身柄を移され、異端宣告を受け、聖職位を剥奪されます。そして彼はボカード監獄にいる間に七度、カトリックへの転向声明書にサインをします。

彼は結局、1556年3月21日に火刑に処せられることとなりますが、その時に七回も自説の撤回に署名した手を炎にかざして「この手が罪を犯したのだ」と叫んだといわれています。そして彼は微動だにせず、また叫び声一つもあげずに、火が燃え上がるや否や絶命したそうです。

### <特禱>

**信ずる者の光、魂の牧者である全能の神よ、あなたは、その言葉によってあなたの羊を養い、その模範によって彼らを導くために、しもべ、主教トマス・クランマーを公会の主教に召されました。どうかわたしたちに恵みを与え、信仰を守り、その生涯に従うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。**

アーメン